

くすのき



インターネットトラブル防止講座



～「加害者」にも「被害者」にもならないために～

先日、外部講師を招き、「インターネットトラブル防止講座」を行いました。令和8年度1年生の保護者（入学説明会時に実施）、4・5・6年生には、NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社講師・筒崎眞美氏から、体育館でご講演をいただきました。更に、来年度最高学年になる5年生には、東播少年サポートセンターからお二人の講師にお越しいただき、教室で授業をしていただきました。

お話の中で、ゲームやアプリに潜んでいる危険性、昨今問題になっているSNS等での「いじめ動画の撮影・拡散」など、具体的にお聞きしました。SNSでの些細な言葉の行き違いが大きなトラブルに発展するケースや、一度投稿した情報は消せないという「デジタルタトゥー」の怖さを、具体的な事例を通して学びました。

インターネットは便利な道具ですが、使う人の「心」が問われます。学校でも指導を続けますが、「我が家のネットルール」について、この機会に改めてお子様と確認をお願いいたします。同時に、スマートフォンでのやりとりやSNSの利用は、ご家庭の判断で買い与えられた「私的な空間」での活動です。ネット上のやり取りについては、学校の指導が及ばない領域です。端末を持たせる際のルールや、日々の利用状況は保護者の皆様께서しっかり管理いただき、お子様が加害者にも被害者にもならないよう、確かな見守りをお願いします。



地域全体で子供たちを守る — 安全安心協議会を開催

2月20日（金）の夜間、今年度3回目の「氷丘小学校学区安全安心協議会」が開催されました。この会は、本校区の各町内会長やPTA地区役員の皆様が集まり、子供たちが安全に安心して過ごせるよう、日頃の見守り活動について具体的に協議する大切な場です。

今回は、インターネットトラブル防止講座でもお世話になった、東播少年サポートセンター所長をお招きし、加古川市内の少年に係る非行等の現状の研修を行いました。ネット詐欺被害・加害やオーバードーズ（市販薬の過剰摂取）など、決して人ごとではない身近なリスクについて、地域のリーダーの方々との認識を共有することができました。



ミラノ・コルティナオリンピックに学ぶ「折れない心」

ミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピックが感動のうちに幕を閉じました。連日、日本人選手をはじめとする世界のアスリートたちの輝く姿に、胸を熱くされた方も多いのではないのでしょうか。

特にフィギュアスケート・ペアの「りくりゅう」こと三浦璃来選手・木原龍一選手組が見せた「世紀の大逆転」は、私たちの心に深く刻まれました。

ショートプログラムでの予期せぬミス。絶望的とも思える状況から、翌日のフリー演技で完璧な滑りを見せることができたのは、「レジリエンス（折れない心・回復力）」です。失敗したとき、いつまでも悔やむのではなく「今できる最善は何か」と気持ちを切り替える力。このレジリエンスこそが、逆転劇の原動力でした。また、空を舞うスノーボード勢の挑戦心や、ライバルを称え合う姿も同様です。「失敗は終わりではなく、次の成功へのプロセス」。このメッセージを子供たちにしっかり伝えていきたいと思えます。